

第2章 学校教育計画

I 学校教育の重点

【基本目標】

- ◆変化の激しい社会を自立して生きるために必要な確かな学力や豊かな心、体力を身につけるとともに、ICTを活用した教育を推進します。
- ◆子どもたちが自信と誇りを持ち、生きる力やふるさとを想う心が育まれるよう、創意工夫による特色ある教育を実施します。
- ◆学校、家庭、地域がそれぞれの教育機能を発揮し、社会全体で子どもたちの豊かな人間性が育まれるよう連携した取組を行います。
- ◆鳥取県立岩美高等学校が目指す魅力化への取組を支援します。
- ◆学校施設の適正な管理や改修を行い、安全で安心な教育環境をつくります。

☆教育内容の充実

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
 - ①見通しをもって粘り強く学習に取り組み、自分の学びを振り返ったり次の学びや生活に生かしたりすることができる授業づくりに努める。
 - ②新しい発見や豊かな発想を生み出すために、協働的な学習に取り組む。
 - ③学校と地域が連携し、カリキュラム・マネジメントを確立していくことで、教育活動の質の向上と学習効果の最大化を図る。
 - ④評価規準や評価方法を明確にして指導と評価の一体化を図る。
 - ⑤外国語活動支援員、ALTと共に小学校3年生から外国語教育に取り組み、学習内容の充実を図る。
 - ⑥中学校1年生全員に英語検定を受検させることで、生徒の英語力と英語に対する学習意欲の向上を図る。(対象中学1年生全員、英語検定5級)
 - ⑦小学校におけるICT活用教育の充実を図る。
- (2) 「内発的な学習意欲」「活用する力」を大切に授業実践
 - ①体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習展開に努める。
 - ②児童生徒の興味・関心を生かした学習指導を展開し、自主的・自発的な学習が促されるよう工夫する。
 - ③とっとりの授業改革「10の視点」を活かした授業実践に努める。
- (3) 心の教育の充実と学び続ける環境づくり
 - ①児童生徒が自己又は人間としての生き方についての考えや自覚を深める道徳教育に努める。
 - ②児童生徒に育てたい資質・能力を明確にしなが、自尊感情及び他者とのつながりやコミュニケーション能力を重視した人権教育を推進する。
 - ③計画を立てて家庭学習を進める力を育てることで、自ら学ぶ力を育てる。
- (4) 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎づくり
 - ①地域や学校の実態及び児童生徒の状況等を的確に把握し、全体計画をもとに家庭や地域の協力を得ながら計画的、継続的な指導に努める。
 - ②児童生徒が生涯にわたって心身の健康を増進していけるよう、栄養教諭を中心とした食育を推進する。

(5)情報の発信をもとにした開かれた学校の推進

- ①R－P D C Aサイクルに基づく学校評価を生かした学校運営に努める。
- ②学校評価結果を保護者・地域と共有し、学校づくりに生かすよう努める。

(6)幼児・児童生徒の一貫性のある育ちや学びの推進

- ①保・小・中・高の「学びと育ち」を見通した接続カリキュラム等の開発・実践に努め、家庭や地域と連携しながらスクラム教育を推進する。
- ②保育所と小学校、小学校と中学校等でそれぞれのねらいを明確にした学習をすることで子どもたちの学びをつなぐ。
- ③一人一人のニーズに応じて「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」等を作成し、幼児期から学校卒業後まで、保・小・中・高の一貫した支援に努める。
- ④学校いきいきプランや少人数学級の実施等、職員配置の趣旨を活かした学校運営を推進する。

(7) 通学費補助

《主な事業》

岩美町進学奨励給付金、岩美町奨学資金貸付金、町費負担教員等、中高生徒就学支援事業（中学校・高等学校等生徒通学費補助、岩美高等学校生徒下宿補助、高等学校等新入生通学費補助、中学生自転車保険加入補助）、外国青年招致事業、中学校英語学力向上（英検5級受検）、スクールソーシャルワーカー活用事業、教育支援センター運営事業、学校いきいきプラン事業、通級指導教室運営費、少人数学級編制費、要保護・準要保護児童生徒援助費、いわみ未来塾の実施、図書館教育の充実（学校図書館司書配置）、学校給食共同調理場運営費、スクラム教育の推進

☆特色ある教育の実施

(1)家庭・地域と連携した特色ある学校づくり

- ①人との関わりを通して、山陰海岸ジオパークをはじめとする自然・歴史・文化等のよさを体感できる学習展開に努める。
 - ②社会貢献活動やボランティア活動を通して、有用感を感じる学習活動に努める。
 - ③地域の教育資源を活用した持続発展教育(E S D)の推進に努める。
- (2)沖縄県国頭村との児童交流など、豊かな体験活動の推進
- (3)鳥取県立岩美高等学校が目指す魅力化への取組の支援

《主な事業》

沖縄県国頭村児童交流事業、特色ある学校づくり推進事業、ユネスコスクール、岩美高等学校魅力向上事業（公営塾の開設、魅力化コーディネーターの配置）

☆家庭、地域との連携

(1) 幼児・児童生徒の生活習慣の確立

「早寝、早起き、朝ごはん」「チャレンジデー」等を推進し、保護者や地域との連携を図りながら、幼児・児童生徒の生活習慣や読書・学習習慣の確立に努める。

(2) 学校運営協議会制度の充実に向けた支援

①子どもたちを地域全体で見守り育てていくことができるよう、令和3年から各学校に立ち上げた学校運営協議会の適正な運営を確保する。

②学習支援や環境整備等、地域学校協働本部（支援ボランティア）を組織化し、地域とともにある学校づくりに努める。

(3) 読書活動の推進

町立図書館及び岩美町子ども読書活動推進協議会と連携しながら、読書好きな幼児・児童生徒の育成に努める。

(4) 関係機関との連携

中央公民館・地区公民館等、関係機関及び各種団体との連携を図り、地域ぐるみの教育活動を推進する。

《主な事業》

学校応援団（支援ボランティア）事業，スクラム教育の推進，地域学校協働活動推進事業

☆学校施設の整備、管理

(1) 安全で安心して学ぶことができる学校施設の整備

(2) スクールバス運行による遠距離児童の送迎や校外学習の機会の提供

《主な事業》

スクールバス維持管理費，教材備品整備費